

## ベトナム小売業の最近の動向

中川 良一

### <セブンイレブン1号店が進出>

2017年6月15日にホーチミン市の中心街にセブン・イレブンの1号店がオープンしました。その後、8月末現在ホーチミン市で4店舗を展開しています。現地でのセブン・イレブン店舗はベトナム法人の「セブンシステムベトナム株式会社」により開設・運営されています。集客のため、ベトナム人に人気のある食べ物（もち米、チャー（あずき入りかき氷）、生春巻き、肉煮込み、パン、孵化卵：ホピロン等）を揃えるとともにWi-Fiのある環境及び快適な飲食スペースを提供することなどに注力しています。

現在、ベトナムのコンビニエンスストアの店舗開設状況は、ベトナム資本のVinMart+：843店舗、米国系のCircle K：250店舗、タイ系列のB' smart：159店舗、ベトナム資本のShop&Go：121店舗、日本のファミリーマート：147店舗、Ministop：80店舗などが展開されています。特にVinMart+は2017年末まで1,500店舗、2018年まで3,000店舗、2019年まで10,000店舗を急速に全国にチェーン店を広げる予定です。同社は小規模の100㎡の店舗も積極的に開設します。各店舗では新鮮な食材、ファーストフード及び日用品が揃っています。韓国のGS Retail社は、ベトナムのキムソン社と合弁会社を設立し、これからベトナムで韓国のGS25のコンビニエンスストアのチェーン店を開設する予定です。

### <生活用品の小売店>

生活用品を販売する小売店については、MINISO及びilahuiは2016年よりベトナムに進出しています。日本ではあまり知られていない名前かもしれませんが、ベトナムの若者から人気を得ています。これらの店舗のイメージとしてはダイソーに近いものといえます。MINISOは化粧品、家庭用品、記念品等を陳列しています。全ての製品は日本風のものですが、中国製です。他方、ilahuiは韓国風の製品を取り扱っていて、これまで、MINISO及びilahuiはそれぞれ29店舗及び24店舗を開設しました。綺麗な店舗で品揃えが充実しており、かつ値段も手頃に設定したことで、これらの小売店はベトナム人消費者、特に若者にとっては魅力を感じさせる店舗となったようです。

### <ファッションの小売店>

本年9月9日11時に、H&Mブランドショップがホーチミン市で最初の店舗をオープンしました。オープン当日は、数千人の若者が長い列で開店を待ちました。2016年9月に既にZARAはホーチミン市で最初のショップを開設しましたが、現在、Giordano、Bossini、Mango、D&G等の約200の外国のファッションブランドがベトナムに進出していると言われています。

近い将来、日本の大手ファッションブランドもベトナムで開店すると言われており、ベトナム人若者の間では、いまかいまかと待ち望まれています。



ホーチミン市でオープンしたセブン・イレブン



MINISOの店舗 カタカナでは「メイソウ」と表記